

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）  
（562）

2. 日時：令和5年8月7日 14時25分～16時15分

3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

忠内安全規制調整官、天野安全管理調査官※、江崎企画調査官、  
宮本上席安全審査官※、秋本主任安全審査官※、藤原主任安全審査官、  
伊藤安全審査官、小野安全審査官※、谷口技術参与、中房技術参与、  
三浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

大橋副主任技術研究調査官、石田技術参与

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）、他10名

原子力事業統括部 原子力リスク管理グループ※、他4名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

（1）泊発電所3号炉 耐津波設計方針について（入力津波の設定について）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい、規制庁フジワラですそれでは時間がありましたのでヒアリングの方始めたいと思います泊発電所3号炉の津波設計方針についてのうち、入力津波の設定について、事業者の方から説明してください。
0:00:15	はい。北海道電力の高橋です。本日は大ツツミ設計のうち、入力津波の設定についてご説明をさせていただきたいと思います。
0:00:24	こちらにつきましては、今、事業者の方で、どういうことを今考えてるか、どんなケースをやろうとしてるかっていうようなところを、具体的に説明をさせていただきたいというふうに思っております。
0:00:37	弊社よろしからご説明をさせていただきます。
0:00:44	北海道電力のよろしですそれでは資料1-1の方でご説明させていただきます。
0:00:51	まず2ページご覧ください。
0:00:55	初め2ということですがけれども、ここで基準津波の考え方をまず述べてまして、基準津波は防波堤の損傷状態によって、
0:01:05	水位に及ぼす影響が異なる選定される波源が異なるということがわかっておりますので、防波堤の損傷状態を考慮した地形モデルを評価項目ごとに紐づけて、基準津波を設定すると。
0:01:19	いう方針で進めてまいります。
0:01:22	入力津波の設定においても、紐づけされた基準津波の考え方に基づいて想定される地形変化を考慮して、
0:01:32	影響要因を設定する方針で進めていこうと考えてまいります。
0:01:38	3ページご覧ください。
0:01:42	ここからは2章で基準津波選定の考え方について記載させていただきます。
0:01:50	3ページは水位上昇側の敷地に対して大きな影響を及ぼす波源の選定の考え方でございますけれども、
0:01:58	先ほど申し上げました通り基準津波の審査では先行と同様に、防波堤の損傷状態によって影響が異なるので、地形モデルごとの最大ケースを、
0:02:11	この敷地に対して大きな影響を及ぼす波源として選定していると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:16	ということで、考えてございまして、ただ先行サイトにおいて防波堤の損傷状態は、防波堤ありとなしの間に係数のみを考慮しているんですけども、
0:02:27	泊発電所では、様々な方向から津波が伝播する特徴を有してまして、片側の防波堤の損傷によって水位に及ぼす影響が異なるので、
0:02:39	健全地形モデル及び防波堤の損傷状態を考慮した地形モデル1から3の4ケースを考慮すると。
0:02:46	ということで右下の表の通り今、四つの地形モデルを考えていると。
0:02:52	状況でございます。
0:02:54	評価項目としては包丁で前面、3号炉取水口、12号炉取水口放水コウノ四つを上昇側で考えてまして、
0:03:06	地形モデルが4ケースということで4×4の中国最大ケースがあるんですけども、基準津波の検討で一部の最大ケースが重複するということがわかってますので、
0:03:19	それを重複分を消したら波源AからHの間は元となるということがわかっております。
0:03:29	4ページご覧ください。
0:03:31	水位下降側についてですけども基本的には水位上昇側と同じような考え方で選定をしていて、
0:03:40	下降側では保守性を考慮した時間を評価項目として考えていると。
0:03:46	ということで1掛ける、地形モデル四つ分ということで、基本ケース分の
0:03:54	波源が選定されると。
0:03:56	というような扱いとなつてございます。
0:04:01	5ページ、ご覧ください。
0:04:05	三、四ページで抽出した
0:04:09	係数について波源ごとに整理した表というのがこちらの5ページの表になります。
0:04:17	この表に記載してます通り、地形モデル、
0:04:22	基本ケースと評価項目、余上昇が4ケース、コガ1ケースですけどもそれを組み、全部の組み合わせにおいて、
0:04:34	最大の水位というのを基準津波の方で検討をしていると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:39	いう状況で、そのうちの地形モデル評価項目ごとの最大ケースに着目して整理をすると。
0:04:47	いう考え方で、この朱書きの部分が最大値となっていると。
0:04:54	6 ページの方です、最大値を抽出したものが、
0:05:00	まとめられているんですけども、最終的に水位上昇側では 14 ケースで水位下降側では 4 ケース。
0:05:10	これら、
0:05:11	のケースを基準津波候補として整理しているというような状況でございます。
0:05:20	7 ページご覧ください。
0:05:24	ここからは入力津波の影響要因の設定の考え方についてまとめてございます。
0:05:33	入力津波の影響要因の設定については以下の 1 から 9 の解析ケースを考慮すると。
0:05:41	ということで考えてございましてこちらの詳細はですね、ちょっと前回のヒアリング資料とかでも提示させていただいたまとめ資料及び指摘事項回答資料で別途整理しますので、
0:05:55	ちょっと詳細は割愛させていただきますけれどもこの 9 ケースを考えてます。
0:06:01	まず基本ケースと、陸域沈下 3.5 メーター、海域沈下 2 メーター、地すべり地形、1 の崩壊。
0:06:12	と捨て場の将来地形反映崩壊と、
0:06:15	いうのを基本で考えて、追加の解析ケースとして、陸域沈下 5 メーターとか地すべり地形さんの崩壊、
0:06:24	ていうのを検討対象としていると。
0:06:28	防波堤の損傷につきましては基準津波の方の検討で解析を実施していますので既存の解析結果を使用するというで考えてございます。
0:06:41	8 ページは地形変化がどこ。
0:06:45	どこに位置するかというのを示したもので詳細は割愛させていただきます。
0:06:51	9 ページご覧ください。
0:06:56	その解析ケースなんですけれども、ここの地形変化ごとに、二次平面二次元解析による定量的評価と、ちょっと以降、地形パラスタと呼びますけれども、それを実施しまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:09	水位、流向流速、それぞれの観点で入力津波の影響要因を設定していきます。
0:07:17	例えば2番の陸域沈下3.5メートルールの
0:07:22	ですけれども、基準津波候補の波源のうち一部の波源、具体的には波源Iに対して、陸域の変状を考慮した遡上解析を実施すると。
0:07:36	波源IEについてなんですけれども右下の米印1に記載していますが、
0:07:43	波源Aは防波堤損傷がなくて、膨張して全面水が最大となるケース。
0:07:49	では原安委は防波堤の損傷がなくて保守性を考慮した時間が最大となるケースと、
0:07:55	ということで代表で選定してございます。
0:07:58	これを基準津波の方で検討した基本ケースの解析結果と比較して、
0:08:06	入力津波の設定に影響を与える場合は影響要因とすると。
0:08:11	入力津波設定に影響を与えない場合には影響要因としては設定しないという考え方でパラストを実施していきます。
0:08:22	9番の防波堤の損傷につきましては、水の観点ではもう基準津波の方で、
0:08:30	すでに影響要因として考慮しているということでございますので、入力津波側では、荒谷は、解析ケースには含めないと。
0:08:39	流向流速の観点では、波源Dの4地形モデルの比較によって、影響要因として設定するしないというのをまた検討していくと。
0:08:50	いう考えで進めています。
0:08:52	この波源Dにつきましては6ページの方で、抽出された
0:09:00	18ケースの基準津波候補の波源のうち、波源Dにつきましては全地形モデルの
0:09:10	データがあるということで、Dを対象に、
0:09:15	流向流速というのを見ていくと。
0:09:17	いうふうに考えてございます。
0:09:22	11ページご覧ください。
0:09:26	ここからは、入力津波の評価条件ということでご説明させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:34	入力津波解析、平面二次元解析は地形モデル評価項目ごとの敷地に対して大きな影響を及ぼす波源 18 ケースを対象としまして、水位及び流向流速それぞれの観点で、地形パランスで抽出した影響要因同士の組み合わせを考慮していきます。
0:09:53	ということで左下の
0:09:57	表 2、こちら地形パラスターの解析ケース数、波源 i の間にケース × 地形変化 7 ケースの 14 ケース、
0:10:06	を解析しまして、右の表の一番上の平面二次元解析で、
0:10:12	18 ケース掛ける、2 の影響要因数 N ちょのケースを平面二次元解析で実施していくと。
0:10:21	感度解析につきましては、入力津波設定位置において、大きな影響を及ぼす波源を対象としまして、
0:10:29	地形パラスタで抽出した影響要因同士の組み合わせ、甲斐士郎スクリーン有無の組み合わせを考慮して、検討していくと。
0:10:38	例えば 3 号取水炉の上昇側の感度解析でしたら、
0:10:44	右の表の 2 列目の 2 行目からの 4 ケース × 2 の n 乗 × の 16 × 2 の N 条ケースと、
0:10:55	この 4 ケースというのは 12 ページに示すような、
0:11:02	3 号取水炉の健全地形モデル地形モデル 1 から 3 の全 4 ケース。
0:11:09	を指してございましてこれらをプラス出していく、プラスだというか入力津波解析をしていくというように進めていく。
0:11:20	考えでございます。
0:11:22	それを各水路でそれぞれ解析ケースとして考慮していったら 11 ページの右のような表と、
0:11:32	その通り検討を進めていく。
0:11:35	考えでございます。
0:11:39	13 ページご覧ください。
0:11:43	13 ページにつきましては砂移動解析の考え方を示してございます。
0:11:52	砂移動解析につきましても、基本的には地形モデル評価項目ごとの
0:11:58	敷地に対して大きな影響を及ぼす波源 18 ケースを対象として、流向流速の観点で
0:12:06	地形パラスタで抽出した影響要因同士の組み合わせを考慮していきます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:11	想定される解析ケースは
0:12:14	この下の表の通りということで考えてございまして、
0:12:18	ちょっと解析手法であったりとか、甲斐城水路内砂移動解析の甲斐四郎とかスクリーンとか考え方は先行の
0:12:31	本間さんこうして解析係数を設定してございます。
0:12:37	14 ページご覧ください。
0:12:43	入力津波の評価条件を、評価因子ごとに整理をしていこうとしているんですけども、この 14 ページは、各評価因子と、それに対する適用解析の
0:12:58	対比の表として作成したものです。
0:13:03	15 ページ以降に最終的に入力津波の評価条件として整理した表を載せてございます。
0:13:13	ちょっとすべての説明、
0:13:16	ちょっと省略させていただきますけれども、例えば 15 ページの防潮で前面最高水位でしたら、
0:13:24	波源と防波堤の組み合わせの 4 ケース。
0:13:28	投影等、
0:13:30	地形変化で影響要因として選定されたものの組み合わせを考えて、潮位変動は朔望平均潮位、潮位のばらつき、
0:13:41	潮位差、それぞれを考慮に入れると。
0:13:45	地震による地形変化は、地殻変動は
0:13:50	進行量を解析結果に足し合わせるような考え方で、
0:13:55	評価条件とすると。
0:13:57	いうふうに考えてございます。
0:14:00	16 ページの 12 号の取水炉内最高水位でしたら、それに加えて管路状態としてかい付着ありなしと、スクリーン状態ありなしの組み合わせを
0:14:13	考慮してこの表に反映しているといった状況でございます。
0:14:18	ちょっと代表で説明させていただきましたけれども以下、同じような考えで、影響要因、評価条件の
0:14:28	組み合わせを表にしてまとめてございます。
0:14:31	説明としては以上です。
0:14:34	はい。規制庁藤原ですちょっとこの資料というのはなかなかんですかね。読んでてちょっと理解しにくいところがあってもしかなら北電が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:46	本当はこうかっていうこともあるかもしれませんがちょっとま ず、衛藤将いや我々はきちっと内容を
0:14:54	今のこの資料だとほとんどちょっとわからないところもあって、
0:14:58	ちょっと1回、この資料についてはちょっと大きな鑑定済ませこ ちらの方から、話をさせていただく後にちょっとまた細かいところ は、
0:15:06	質疑の方をさせていただきます。まず大きいところからさしてい だきます。
0:15:11	規制庁植竹ですけども。
0:15:13	これって、事実確認だけど最後説明があった15ページとか見る と、基本的には
0:15:20	他のタバタサイトでは全部、全ぱってというか、いわゆる基準津波 全般に対して、
0:15:27	考え得るケースをすべて網羅してるって数すべて流してると。
0:15:33	いったところで、入力作業対象を比較して、
0:15:36	例えばその時点ではにるつつ、常にですね決めているのがあるん ですけどここでは決めてるんですよ。
0:15:44	ここではあくまでも基準津波が起き、かなり数が多いので、
0:15:48	ケースも多いということもあって、合理的に絞り込んでスクリン グして、入力津波を設定していこうっていう考え方なのかなとい うのはそれは間違いないですよ。
0:16:02	北海道電力の吉井です。
0:16:06	防波堤、
0:16:11	北海道電力の吉井です。はい。その通りです。
0:16:16	はい。
0:16:17	セトだけですが、そのを絞り込んでいくっていうことで、了解し ましたけど、
0:16:23	その時にね、
0:16:26	今、
0:16:27	例えば、
0:16:28	9ページか、9ページ見ると、それ以降もそうなんだけど、寄付、 基本ケースで、いわゆるいろんなパラメータスタディケース気 になるケースと対比させて、
0:16:41	いくということで、基本的にその
0:16:44	前、ある程度結果が前提がもうつつ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:47	あって、
0:16:48	何ていうんだろう、いわゆるこういうようないろんな、9 ページで 書い考えてる人かケースとかそういったものは、何ら影響ないとい うことを踏まえて、
0:16:57	話を国が取ってるようにしか見えないんだよね。
0:17:02	何でこんなこと言ってるかわかる。皆さんガイド読んでる。
0:17:05	ガイドの 25 ページとか読んでください。
0:17:08	3.3 節の入力層理の設定って何て書いてあります。
0:17:14	入力セット 3 の設定にあたっては、読むとですね。
0:17:17	ミイのツツミが、
0:17:19	各施設設備の設計に用いるものであることを念頭に、津波の高さ 速度、衝撃力、
0:17:27	まあ、ちょっと省略しますが、いわゆるその荷重因子を選定し た上で、
0:17:31	施設の、いわゆる膨張低とカセ設備の、
0:17:35	構造、機能損傷モードに対する効果、
0:17:39	ですね、浸水高さとかは、波力だとか、前屈力が安全側に評価さ れるようなものを選んでいくんだっていう趣旨なんですよ。
0:17:48	1 点はわかりますだから、荷重因子として、
0:17:52	厳しいものを選ぶよつってるんですよ。選びなさいよつって るんで簡単に言うと、
0:17:57	で、
0:17:58	両括弧 3 で、施設が海岸線の方向において広がりをもっている場 合、多分ここと一緒ですよ、トイレと。
0:18:07	そうした場合は複数の位置につか 11 の辺りがダイソーを比較し て、東西せずに、最も影響を与えるわけで、
0:18:17	発電所の安全ってということというような話は基準津波で一つの棒 の判断基準になってるんだけど、ここでは施設の荷重として、
0:18:27	大きいものを選ぶっていう趣旨になってるんですよより詳細に、
0:18:31	そこが僕は抜けていると思う。
0:18:34	それとともに、
0:18:39	基準要件の中にある津波による、港湾内の局所的な
0:18:44	海面励起海面の固有振動の励起を適切に評価して、
0:18:51	考慮することによる資材の設定にあたってはですよ。
0:18:55	海面利益に関しても適切に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:58	考慮しろって言ってるんですよね。
0:19:00	金曜日もだから、そういった概念が全然ないんだよ。
0:19:04	なぜないか。
0:19:06	いうことを、これから申し上げると、5 ページだと皆さん行って書いていただいているんですけど、
0:19:15	例えば防潮庭のところではげFの、
0:19:19	③番のところのケースですね、15.68 がチャンピオンですよね。それに近いものは下にもありますけど、これはチャンピオンですよね。
0:19:29	こういった、例えばですよこのケースが、
0:19:32	9 ページを見てもらって、9 ページで言っている。
0:19:35	1 から 9 ケース 9 を除いて 8 ですよね 8 まで。
0:19:41	基本的に、
0:19:42	ケース 2 から 8 までのケースで、
0:19:45	そうやったん中で、この 15.68 を上回るようなものが出てきたら、
0:19:50	駄目なんですそれを設計課、設計課長として、
0:19:53	見ないといけないわけですよ。
0:19:55	ね。
0:19:56	設計ですから、
0:19:58	それを選んで言ってるから基本ケースなんて、
0:20:01	基本的にね、チャンピオン中 1 個もないじゃないですか。
0:20:04	だから設計荷重がをえらぼうとしてるんですよ。誘導津波の高さっていうのは設計荷重なんですよ。
0:20:11	それを、
0:20:12	うん。
0:20:15	全部のケースを網羅的に見た中でそれが、
0:20:18	最高代表ではなくて、チャンピオンだって言わなきゃいけないんですよ。
0:20:23	チャンピオンであることを、
0:20:26	証明しなきゃいけない。
0:20:28	しかも、
0:20:31	網羅的になっていうこと全部やればそういうものになりますよねでもスクリーンアウトしたいわけですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:36	です。そうした時に基本ケースだけ比較していったときに言えますかって話なんですよ。基本ケース2だけ見ていて、
0:20:44	こういうようなパラメーターはほとんど、
0:20:47	影響がありませんつったって、
0:20:49	五味かもしれないけど、このFアノ0
0:20:54	3番ですかそれやったら、
0:20:57	米じゃないからこの構成ってあり得るかもしれません米田が説明したことになるじゃないですか。
0:21:03	だから、そうするとそういった結果を持ってこられたら我々としては、適合性の判断ができないので、全部やり直してくださいって言うしかないですよ。
0:21:11	厳しい言い方すると、
0:21:14	理解しました。
0:21:15	我々として、
0:21:17	この検討を絡めたケースの中で考える中で、
0:21:22	いわゆる、
0:21:24	防潮てにかかるとか、その流速もそうですよね、距離物だから、そういった部分も含めて、最大の荷重を、
0:21:33	救出できてますっていうことを僕ら確認しないとイケないんです。
0:21:37	だけどそれ、今の説明で確認できますかったら、
0:21:41	ねえ。
0:21:42	よっぽどね何ら影響がないっていう話。
0:21:45	あっととしても、すごく
0:21:48	チャンピオンケースで本当に厳しいから、そういう風になるかわからないかってわからないですよ。やってみないと、規制庁で、
0:21:55	計算するんですかって話ですよ。うん。
0:21:58	そういうわけじゃないです今全部示していただいていますよね。
0:22:02	だから、そういったことを言うと、この
0:22:04	ガイドの中での要求事項に対して答えていないので、
0:22:08	村として適合性が判断できない。
0:22:10	ということです。それから、もう大きな話ですよ。
0:22:14	で、
0:22:15	まず、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:16	基準津波の選定と、
0:22:18	入力津波の選定は別なので、
0:22:21	話を切り分けてください。で、入力津波の選定というガイドに沿って、フローチャートを作るなり何かしてですね、どうやったら合理的に誰でも、
0:22:31	これは間違いこのつ選んだん、津波の基準津波の高さが、
0:22:37	値としてね。
0:22:39	設計活動として、一番、
0:22:41	厳しい状態だと。
0:22:43	そう。
0:22:45	は理解できる。
0:22:47	ように、
0:22:49	ロジックを組み立てて、早々このロジックとしてはどういようなステップでやったらいいのかっていうと基本的フローチャート組んでだと思えますけどその判断基準とかも含めてですね。
0:22:59	それをもう一度構築した方がいいと思いますよ。だから、それで最終的に基準津波と選んだものと、
0:23:06	合理的な整合性があるかどうかということを見ていかないと、
0:23:10	別物ですから、
0:23:17	あくまでも、
0:23:22	各自自然的に起きてるもの等がある程度合理的に選出するのと、基本的に荷重として設計としてね。
0:23:30	へえ。
0:23:31	を選ばれた基準地震動が、基準時津波の中で一番大きいつ
0:23:37	浸水高とかそういったものが幾つなんですか、充足とか、ただそういうその数字だけですね設計としては、
0:23:43	その設計が選ばれてない限りは、安全性は確保確認できる部分にならないので、
0:23:49	A案、納期、安全機能の維持を確認できていないってことになりますから、裏返すと、そうすると適合性の判断ができないって話になっちゃうんですよ。そういうふうに、意味合いでガイドが書かれているので、
0:24:01	もう一度そこはよくよく考えていただきたいと思うんですよね。
0:24:05	よろしいでしょうか。
0:24:19	兵頭電力オクデラです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:21	ですね。
0:24:23	今、
0:24:25	すみませんもしかしたら私の考えが認識が誤ってるかもしれないですけど、9ページでやろうとしている。
0:24:34	ことというのは、
0:24:36	1から9までの因子が効くかどうかというところを、
0:24:43	確かめるために、代表課で選んで、最後に入力津波作ると聞いニワですね。
0:24:50	18京成からエールですけれども、すべてに関してその印象を考慮した水位なり何なりっていう、流向流速なりを、
0:24:58	出していくという考え方に、
0:25:01	に基づいて今の資料を作っているんで、もしかして9ページの印紙選びは、代表はと言ってますけども河合とかDとかそれなりに大きいものを選んでおりますので、
0:25:14	選ぶんであればちょっと差し上げますけど。はい。Fなんじゃないですか。Fとか、僕から言えば、ほとんど。
0:25:23	なんて要らないですよ。ちょっと全体のさ、今回見てないからわからないんだけど、この数字、数字だけ見るとね、5ページの、
0:25:31	そうすると、F、Fはですよ。例えばね、
0:25:36	この5ページ見ていくと、チャンピオンだけ見ていくと、
0:25:40	それと膨張ては、
0:25:42	波源、F-03じゃないですか。
0:25:45	3号機の取水口も波源Fの、
0:25:49	①番、13.14じゃないですか、キャンペーンは、
0:25:53	それが変わるかわからないかをチェックしたいんで、
0:25:57	因子として、これが変わるかどうかっていうのがまず重要なんじゃないですか。
0:26:02	これに影響を及ぼすか及ぼさないか。
0:26:05	で、さっき言ったように、その13.44だったら、例えば波源への、
0:26:11	包丁での0基本モデルのやつが、13.4ってもやっぱり、
0:26:17	19.6月頭は2.数メーター違うわけで膨張ての高さを変えるぐらいのね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:23	そうなるわけですよ。そこで、その程度低いものと比較で大丈夫だとか、とかね、あまり変わらないんだっていう議論しちゃって、
0:26:31	わからないですよ。
0:26:33	影響因子としてっていう話って言ったら影響因子つつたら、荷重の影響因子つつたらもうほとんど決まってる設計的なものだけだから、基本的には高坂。
0:26:45	流速かって話だよ。
0:26:48	うん。
0:26:49	細かいこと言うと
0:26:51	漂流物。
0:26:52	の流向流速とか言ったけどそれってあまりの無限だからまずは、
0:26:57	加工で押さえるんじゃないですか、基本的に言うと。
0:27:00	そうしたときには、
0:27:03	今言ったところで一番厳しいところで変わるのか変わらないのかという確認していただかないと、我々判断しかないかなと思ってそれ、
0:27:12	印象は
0:27:14	引っ張ると言ってるけど、その
0:27:17	もう基本的にそう。
0:27:21	9 ページの 2 番 3 番、8 番の影響があるかないかっていうことで印象って言ってるのであればそれは変な話で、
0:27:30	ここからここを選ぶのであれば、本来であれば、全部連携する、やる使うケースっていうのはあれですよ。
0:27:39	包丁での損傷ケースですよ。
0:27:42	3 ケースあるけど、だから、実際には今これって何だっけ、何%だっけ。
0:27:51	全部あれだよ。
0:27:53	12、12、14 と 4 だよ。うん。だから 14 掛ける。
0:27:59	4 ケース。
0:28:06	そして、情操だけで読まず、考え方がある。
0:28:10	14 でね、14 で、今これ、4K、地形モデルが 4 ケースあるわけだよ。
0:28:16	その地形モデルに対して、これ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:19	全部でいうと、2から8だから6あるわけなんで、縦軸に6のマトリックスがあるわけだよ。
0:28:25	それ全部やらなきゃいけないんだよ。
0:28:27	それを全部やらなくてもいいような話を作ってかなきゃいけないわけね。うん。
0:28:33	その中で言った時にこの箱を含む、それらの中で、
0:28:37	影響があるものがどれなのかっていうのは見る上で言った時には、少なくともまずは、
0:28:44	最大値に対して影響があるのか、多分奥村さんとしては多分、全体見渡してるから、
0:28:51	それだけで十分じゃないでしょってあるんだと思うんだよね。
0:28:54	例えば、
0:28:56	他のいいはとかいうと普通流行や流速、流向が違うわけでしょ、各波源によって、だからそれによって、この①③なんかは、
0:29:05	数も一律的に一緒ではないって言ってるわけですよ。
0:29:09	だからそうすると、
0:29:11	ある程度この15.68が、
0:29:15	2から8までのケースをやったときに、
0:29:19	ほとんど変わらないとしても、
0:29:22	検証として、
0:29:24	何%、何%かは加えておかないと。
0:29:27	わからないですよ。
0:29:31	さっき言ったそれはなぜかというときさっき言った、
0:29:34	海面の、
0:29:38	例規の話ですよ。
0:29:40	だからその、
0:29:41	多分入力サービスが一番高くなってるころって、各ケース全部違うんだと、多分、泊は違う。
0:29:48	おんなじとこで全部FAXになってます。そうじゃないですよ。
0:29:54	例えば限定される水道をサンゴオク3号の取水口というのは多分3号取水口ジャストポイントなんでしょうけども、
0:30:03	もうちょっと前面って、かなり距離が長いんで、平面的に、
0:30:08	その中で、1号機から3号機までのエリアの中で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:13	どこかが厳しいというだけでみんなを同一のところで厳しいわけじゃないんですよ。僕は見てないかわからないんですけど、
0:30:20	いかがですか。
0:30:24	もう北海道電力奥寺です。厳しいところの拾い上げる範囲っていうのは今、江崎さんがおっしゃった通りです。
0:30:32	おっしゃってることを私なりに今理解しているんですけども、一応、今我々が持ってきた考え方のところを、説明させていただくと、
0:30:46	はい。これ最大では 15.68 とか 15.65 出ているものではないですけども、
0:30:53	基本となる地形というのはやっぱり健全地形それに対して、ものを比較していくような考え方であれば、何か代表ケースとして持ってくるのは、
0:31:03	健全地形としたもので、
0:31:05	やっていくのがいいだろうというのが、我々の考え方として一つありました。それともう一つ、先ほども言いかけたんですけども、今、から、ごめんなさい、全然地形を、
0:31:19	僕はわからないのね、その健全地形から比較してみて、何がわかるんですか。
0:31:25	そこがわからない。
0:31:28	北海道電力奥寺です。何がわかるのかという観点で、今この資料を持ってきた我々の考え方を言いますと、
0:31:37	ああいうからこういうっていうようなことをするつもりではないんですけども、考え方だけ言わせていただきますと、9 ページの、
0:31:46	1 はちょっと違いますね。2 から 9 っていうのは、影響因子、影響のある可能性のある因子だと思っておりますけれども、今基準津波っていうのを上り側で言いますと、から、
0:32:00	H14 係数持ってきておりますけど、それなりに
0:32:06	直接到達する波、そして岩内からの反射という大きな特徴が一緒の大きな津波を持っているのでこちらの津波の代表ケースを持って、
0:32:18	この影響因子の 7 ページ、9 ページですね、9 ページの 2 から 9 までのそれぞれの因子に影響があるないっていうのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:30	大評価をもって判定すれば、あるなしの判定ですけれども、1個1個確認できるだろうと、そういうふうに思いながら、代表かを選定で、
0:32:40	今日は説明だけではそれって、
0:32:43	一般的なトレンド泊の中の一般的なプラントで、特異なMACCSの設計荷重を選ぶっていう概念にはならないよね。
0:32:54	わかる。だから、全般的な傾向を抑えるだけで、それは考察として必要かもしれない。
0:33:00	例えば設計荷重で設計しようとしているのに、そう、最大の設計荷重を抽出するという概念からすると、それはアウトだよ。
0:33:09	うん。
0:33:10	とって意味がある。だから、それを設計として成立しないって言って、
0:33:16	設計だから、
0:33:18	安全側にしなきゃいけないんで、
0:33:20	どんな不確定要素があったとしてもこれは変わらないって言うてもらわないと困るんで。
0:33:26	研究じゃないからさ。
0:33:28	だけど、
0:33:30	逆に言うとね。
0:33:31	さっき言った厳しいところはもう設計荷重で、
0:33:36	選びましたと、今、
0:33:40	合計数、5、5ページの中で、これが基本的に、
0:33:45	9ページのケースを踏まえても、
0:33:47	変わらない変わったとしたら、それが厳しいので、それを設計課長とします。
0:33:54	そうしたときに、なんで、
0:33:56	そういう変わる変わらないって言うような、
0:34:00	要因があるかっていう。
0:34:03	要因分析ですよ。
0:34:04	そういった場合にはそういう全般的なもので、基本的なもので押さえた方がわかりやすいから、
0:34:10	まず基本ケースとして考えますよというのはわかる。今やろうとしてる目的は、あくまでも最大荷重を求めてくれって言うんでね、求めなさいって言うんだよね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:20	でも止めるような
0:34:23	ものを確認しなさいって言ってるわけだから、
0:34:29	その敷地としての、
0:34:31	相当特性だとかね、いわゆる、そういったものを、
0:34:34	を抑えるっていうのはそう。
0:34:36	結果に対して、
0:34:38	稼働であるっていうような裏付けとしてはいいと思うんだけど、それを、
0:34:46	ごめんなさい、一般的な傾向分析の中で、
0:34:50	なっちゃうわけなんだけど、そういったものから設計荷重は抽出されなと思います。
0:34:55	アコム。
0:34:56	設計っていうのはさ、論より証拠だから、基本的に照合証拠がないと駄目だね、いわゆるエビデンスが。
0:35:04	それは、
0:35:06	定性的な話になっちゃうからさ一般的だというと直接的じゃないからね。
0:35:10	実際にできる荷重に対して、それが変わるか変わらないかって言ってるわけじゃなくて、
0:35:16	変わらない年ならばこういうイデ。
0:35:18	というような傾向があるから、こういうような特徴があるからとしか把握できないわけだよね。
0:35:25	逆に言えば、うん、これは、ある程度その計算ケースでやって変わらないと言ったのは、もともとそもそもが、
0:35:33	こういう基本ケースから見てもこういう傾向があるので、
0:35:37	変わらないのは当然なんだというふうな説明は路地わかるんですけどね。
0:35:43	いいですか。
0:35:45	北海道電力の高橋ですけれどもちょっと確認なんですけれども、今回我々の考えとしては、最終的には全部見るにしても、その影響因子として、
0:35:58	基本係数だったり、加古川だと、はい。
0:36:04	僕が言ってるのねここで影響因子として落とす落とせないっていうことがここでは言えないでしょって話。お父さん落とさないっていうか応訴とかだけでは、多分、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:16	落とせないでしょっていうことは相当我々だとかそういう比較だけではわかんなくて、設計荷重観点で影響があるかないかの影響因子でしょってことで、影響についてなんですかったら、
0:36:28	設計荷重に対する影響因子でしょ。というのは、ここで言ってるMACCSに対して、ワークスに対して影響があるのかということと言わなきゃいけない。
0:36:38	単に、そういう意味で、我々として今、度合いっていうのを、一つの考え方を持って選定したんですけれども、それじゃやはり足りないでしょっていうご指摘かなというふうに、
0:36:52	理解したのと、あとは清家です。
0:36:57	はいはい。
0:36:59	根井さんつくように言ってるけど、
0:37:01	公営の値を、じゃあ、それを使って、防潮で設計するって言ったら僕ら反対しますよ。はい、そうじゃないですよ。ここで言ったら15.68で設計するって納得するけど、
0:37:13	そうでないんであれば、基本的には納得しないですよ。いや、最終的にはこの波源Fで、この15.68、これが9ページでの影響因子を踏まえたときに、どれぐらいの高さになるのかっていうところを、
0:37:28	お示しすることになるのかなというふうには考えてます。もう一つ、基準津波と入力津波っていうところで、先ほど来ご指摘いただいた通り、
0:37:41	やはりその荷重の観点で高さをまず優先してこう見るんじゃないのっていう、意味では、基準津波の方で、この地形Aを4ケース、
0:37:53	やって、今そのF-03の15.68が高いというところまではわかっているんで、防潮でのこの99ページで9番の損傷っていうのは、基準津波の方で見ているので、
0:38:07	今これAとかIとかっていうのを代表ケースにしましたけれども、こういったところがFであったり、そういったところできちんと印象を見ないと、
0:38:20	説明にならないんじゃないかっていうふうに理解しましたけれども、そうすると思いますよ。だから、多分土木側の方で言うと、あれに近いよね。
0:38:29	僕は重要構造物の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:32	地震後そう負担不確かさとばらつきのケースの選定って、
0:38:37	基本ケースとしては、基本モデルに対して、入力しても全部ナカセないですか。その入力地震と、
0:38:44	どこが入力シート角野桐生小口の厳しいかってのを決めた上で、基本ケースで、それで、
0:38:51	ただずっと不確かさを見ていってるよね、僕の場合の概念はそういう話なんですよね。その中で、あそこ、各社も見てもらってわかるけどそのケースだけじゃなくて、
0:39:01	もし仮に近いようなケースがあって、
0:39:06	そのケースを、
0:39:07	やってみたら、逆転することはないかどうかっていうて、検証が必要になってきますよね。
0:39:12	そういうことも踏まえていく必要があると思うんだよね。
0:39:16	だから、それだけじゃなくてね。
0:39:18	嘘とにかく全部やれば問題ないんだけど、全部できてない部分だねでも絞っていくんであれば、
0:39:25	かなり誰が考えても個々のケースしかないよねっていう話だったらわかるけど、そうじゃない場合はある程度、
0:39:33	もう確認は必要だよ。その確認とかいうことも踏まえて、どういような考え方で成立していくのかということを示していただきたいと思っていて、
0:39:42	今の状態だと、この影響評価が、
0:39:48	ちょっと選定って言うことが影響評価の選定というのはちょっと、ちょっと僕が聞いてると中途半端な位置付けになってるんで、最終的な設計の荷重を抽出する中で
0:39:58	んの、どのような位置付けになってるかってのは、ちょっと不透明ですよ。
0:40:04	なんでその辺は明確にしていきたいなと思います。
0:40:10	ちょっと事業者内で相談します。
0:42:06	えっと事業者の方の打ち合わせは終わりました。はい。
0:42:11	置き換わってるでしょ。
0:42:17	規制庁の石田です。えーとですね、先ほどから、
0:42:22	エザキの方がずっと
0:42:25	説明しておりますのはですね、やはり設計に使う値なので

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:33	保守的な値が決まるような条件というものを抽出していく、スクリングするにしてもそういうものを抽出していくってのが、まず大きな目的であろうという考え方ですね。
0:42:44	それで、
0:42:46	そういう観点で見たときにですね、まず6ページのところ、
0:42:51	この一覧を見ていただきたいんですけど。
0:42:54	例えばこの6ページの一覧の中で、
0:42:57	上昇が14ケースに対して、包丁で前面における値っていうのはここで、四つのチャンピオン、四つ、地形モデル四つに対してのそれぞれのチャンピオンの値っていうのが、
0:43:12	13.44メーター-15.65、14.985.68というふうに選定されてるわけですね。これはそういう形でこの6ページってのは整理されていて、
0:43:23	今の話を踏まえて、
0:43:26	具体的な詳細の、
0:43:29	解析の条件ということで、
0:43:32	15ページに一覧を作っていたんですけど。
0:43:36	この15ページのところの、
0:43:40	左っ側のところのですね、対象波源それから、防波堤の地形モデルのところですね、この組み合わせっていうのは、
0:43:50	6ページのところから抽出された四つのチャンピオンの値に対応したケースが書かれているんですね。
0:43:58	つまり、
0:44:00	この6ページと15ページの対応だけを見るとですね、ここで影響因子っていうものの
0:44:08	抽出ができていて、それに対応したケースがもう洗い出されてるように読めるんですね。
0:44:16	で、まずそれが第1の理解です。で、
0:44:19	そうするとですね、この9ページってのが一体何かってのがですね、実は全くわからないんですね。
0:44:29	実は全くわからない、有無アノすいません恐縮ですけど実は全くわからなくて、
0:44:35	なぜここで波源A Iなのかとか、それから、波源A Iのところの前提条件として、膨張での損傷がないケースにおけるものっていうふうに決めておられるんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:48	こういう条件設定をしてここで出てきた結果っていうものが、
0:44:55	どういう、どういう性格の、どういう性質の結果がえられるのかがわからないんですね。
0:45:01	この9ページってのは本当にわからなくてここ、ここ、
0:45:04	先ほど来エザキがずっと指摘しているのはそういうことで、一般的な傾向分析をするという意味での、
0:45:14	分析の過程をここで考えているのか。
0:45:18	どうなのか。それだったらそういうのもありかもしれないですね。しかし、MACCS保守的な値を設定するための、検討のためには、こういうかアプローチっていうのは、不適切ではないでしょうかっていうような指摘を、
0:45:34	申し上げているわけですね。
0:45:36	なので、少なくともその6ページ9ページ15ページっていうふうな対応で見たときに、一連の考え方が統一されていないんですね。
0:45:48	なので、非常にここは混乱を招くところです。
0:45:52	なのでむしろその、私最初冒頭に申し上げたように、単純に6ページでチャンピオンを抽出しているの、それに対応する、詳細の条件設定を15ページ以降ですべてしております。
0:46:07	ていうふうに言っていた方がむしろ、
0:46:11	北海道電力としてのロジックというか考え方が整理されているかのように感じた次第です。
0:46:20	なんですけれどもちょ、ちょっと今、
0:46:23	エザキ、並びに私としてはそういう理解をしているんですけどもそれに対してはいかがでしょうか。
0:46:48	北海道電力奥寺です。
0:46:50	9ページの9のところ白抜きになってますけれども、防波堤の損傷っていうのは、すでに
0:46:57	6ページのところで、影響が見られてるということで白抜きにしているということでそこが15ページの
0:47:04	ありなし、例えば15ページのEFありなしの組み合わせに繋がっていてここは、
0:47:11	影響として見られているその他の医院が影響あるのかどうかっていう観点で先ほどの一般的傾向的なところで探れるのではないかと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	と 思っていたのが我々の考えですけれども、今の議論を踏まえると、
0:47:25	笹井最大のもの、或いはそれに準ずるようなものに対しての影響が見られない都心に、
0:47:35	影響因子見れないんじゃないかというような趣旨も、こちらキャッチしておりますのでそういう観点で、
0:47:43	はい。
0:47:48	なので今の今のやりとりを踏まえて少し確認の仕方、流れ、
0:47:59	選定ケース等を再整理したいと思います。以上です。
0:48:12	規制庁の江崎ですけど一番最初にその選定のロジックとして、
0:48:17	同様な考え方に基づいて、
0:48:20	やっていくのかってそう考えの中でどういう判断基準があるのか。
0:48:25	どういような、
0:48:26	手順で、
0:48:27	落として、いわゆるスクリングしていくのか、そういうことが、
0:48:31	わかるようなものが最初に書いていただいて、そのあと、実際にその基準津波の中で獲られている知見の中でから考えると、
0:48:41	スクリングできていけるといったものが今後多分15ページとなっていくと思うんですけど、何かそれだけやあ、いろいろと多分フクダオクデラさん知ってるんでしょうけど、かなり複雑なんですよねきっとね。
0:48:53	僕はまだ見てないからわからないけど、
0:48:56	要は流行が複雑なんだと思うんですよ。
0:48:59	うん。
0:49:01	そういうことが考えると、一義的ではないので、ある程度拘束、一般論的な考察で、そもそも論で、どのような流れになっている流れ場で考えていたときに、
0:49:11	んでも説明できるのかということも含めて検証した方が確実だということやっておられると思うんですけど、そういったことも踏まえて
0:49:21	記載の記載は充実していただいた方がいいのかなと思うんですけどね。
0:49:25	よろしいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:27	北海道電力の高橋ですけれども、先ほど事業所の中、事業者の中でお話した結果にもなりますけれども、先ほど江崎さんそれから石田さんが言われた通り、
0:49:39	我々最初このAIは、一つ代表をとってご説明しようと思ったんですけど、その議論を踏まえてですね、逆に基準津波でしっかり高さの関係で、
0:49:51	お示しをしてる部分がありますので、そういったところを使って、絞るスクリーニングの考え方、そういったのをしっかり網羅的に
0:50:02	文章にも書き起こして、最初にご説明するような形をとっていきたいと、そういうふうに思ってますので、そこについては、協力、議論を踏まえて、
0:50:14	さらに基準津波の結果をきちんと反映したような形でご説明していきたいというふうに思います。
0:50:23	わかりましたハラ的に、
0:50:25	スクリングした結果、麻生一番厳しい、保守的な保守的適正じゃないか厳しい。
0:50:31	荷重が提出されてるっていうことがわかるような労ちくを組んでいただければと思います。
0:50:37	今日はその他にもですね、この中でやっぱり確認とりたいところが、審査官から上がっていますのでそれは当時これから確認させていただきたいと思います。
0:50:50	私から以上です。
0:51:18	規制庁武者です。
0:51:19	細かいところだけ、
0:51:21	今後、ロジックとか、する論理構成だとかフローだとか使っているいろいろとわかりやすくしてもらおう。
0:51:28	ところでちょっとこの資料見てちょっとわかりにくかったっていうところだけ申し上げますで、このパワーポ農産、4、5、6っていうのが、ポンポンポン。
0:51:40	と出されていて、何か文書がちょろちょろっと書いてますけども、ちょっと思いますんでこれ、何を、どういう順番で、
0:51:48	何をやったのかというのがちょっとごめん、わかりづらいです、おそらく口頭で何となく話があって押すんだな、三、四ペー

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ジが要は結論であって、それに至る中間過程がゴトウ6ページか なっているところが多分あると思うんですけど。
0:52:03	今のウエダすんなんですかね。よくちょっとわからないのでそこ はちょっともうちょっと、順番はちょっと間がたりとかですわね多 分ムタダ5ページは結構重要そうなものなので、
0:52:14	もしかしたら34と5ぐらいが一番重要で、それぞれの
0:52:19	位置付けをちゃんと明確にしてくださいアノ、要はなんか全部な んかし表だけポンと置いて、あとは我々に解説してくださいにし かちょっと見えません。
0:52:30	これやめてください。これはちゃんと我々にちゃんとな、何を説 明したいのか、その資料の位置付けはどうなのか、これをちょっ と明確にしていきたい。この点、よろしいですかね。
0:52:46	北海道電力奥寺です。3459、基準津波の選定過程等、基準津波候 補ですわね、の選定過程とそれに纏わるバックデータのところで すがその繋がり位置付け、
0:53:03	検討の流れがわかりづらいというご指摘かと思imasのでその辺 りがわかりやすくなるよう再整理したいと思imas。以上です。 はい。規制庁じゃないですこれは基準津波じゃなくてあくまでも 入力津波のやつなんで基準津波がどこまで。
0:53:18	この本編に入れるかというのはちょっと大井を検討してもいいか もしれないすわね。はい。
0:53:25	そうですね、5ページのところでいろいろとこれが、要は何か、結 局、基準津波側の審査の方で、
0:53:36	要は各波源体質の地形モデルが、いろいろやっているというのは これで確かにわかって、ただそれが9ページの方にですわね、
0:53:44	確かに
0:53:46	よく読めば、その9ページの9番かな。
0:53:49	言ってることはわかるけどもちょっとこの日本語は、考えた方が いいのかなと思imasんで、
0:53:57	要は案なんですかね。
0:53:59	乳井。あくまでも、今回は入力津波の評価においては本防潮防波 堤の損傷を、いくつか地形係数を考慮して評価する。
0:54:11	でも大前提であって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:14	ただその結果は、その基準津波側の値をそのまま使うことができるって何だろう、この太文字の解析ケースには含めないっていうちょっと余りにも消極的な。
0:54:25	記載ぶりだとすごいちょっと、これは何か我々もちょっと迷うんですよねいや含めないって言ったらじゃなんでっていうふうに読むんですよ。
0:54:34	なので、そこはちゃんと説明性を向上させるために、事業者一体家っていうことはもう理解したんですよ。理解したのでそういったことをちゃんと明確にしてください。要はせ消極的住宅ちゃんプラスとしての記載ぶりを本当によろしいですか。
0:54:50	北海道電力の吉井です。ご指摘いただきますか。入力津波の影響要因設定のための解析形成含めないと書いてますけれども、
0:55:03	入力津波側としてもどういうことを考えて、
0:55:10	考えたところは基準津波側からの結果を流用できるというような規格書き方に修正させていただきたいと思います。
0:55:20	衛藤区長じゃすま書き方のもう1回持ち帰っていい形でやってください。で、
0:55:26	ちなみにですよ9ページなんか、1、1、基本ケースって書いてあるんですけど、
0:55:34	この基本ケースって、7ページも書いてあるのかなこれなんで、基本ケースって用語の定義がわかりません。
0:55:41	最初、基準津波候補の波源を指しているのかと思ったらでもそうでもないし、もう2のページの2の行ですか。この基本ケースの解析結果と比較して言われても、
0:55:55	これなんだろう波源A Iの
0:55:58	基本ケースって言ってるかないうは何か、何だった波源以外の健全地形モデルで書きゃいいじゃんとか思ったりですね、比木ケースって言ったら、
0:56:08	それ、これ何を指してるんかってちょっと、
0:56:10	今言いますかね。
0:56:14	北海道電力の吉田です。こちらの基本ケースにつきましては波源、A Iの基準津波側で検討したケース。
0:56:26	に該当します。
0:56:29	ので、6ページの
0:56:33	波源への健全地形モデル。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:36	と、はげあいの健全地形モデル、これ、
0:56:40	ミツイ、これが基本ケースと呼んでいるものでございます。
0:56:45	規制庁藤原です。さっきはゲイに関しては今日の議論を踏まえる といろいろとブラッシュアップされると思いますので、これちょ っと、今後の事業者の記載ぶりとしての
0:56:56	ちゃんとして欲しいことを申し上げます。まず、用語の定義を明 確にしてください。何かこういうのって多分、
0:57:03	担当の方が作られて担当の方は理解してるにもかかわらず、上の 方が見たときにきっとこれ気づきはまずいですよね。
0:57:10	だって基本ケースなんで、絶対思いますよね、そこは。要は、い ろんな人の目で見てちゃんと用語がどういうふうに使われてるか ってというのは、今後ちょっと見てください。これ今後、
0:57:20	何ですかね、内容を整理したときには、たくさん出てくると思い ますので、そこは十分手当してください。よろしいですか。
0:57:29	はい。北海道電力の高橋です。今回基本ケースということではわか るだろうというような書き方になってしまって大変申し訳ござい ません。しっかりそういった用語の定義、
0:57:39	をしっかりと規制するようになりたいと思います。また確認してい きたいと思います。はい。規制庁藤原ですまた用語の定義で7番、7 ページか、7ページの7と8の上に書いてある。
0:57:52	追加の解析ケース、これもうちょっともう気づきなんで、いや、 多分これはあれですよ、現時点に先行してるものに対して追加 って意味だと私は思うんですけど。
0:58:01	そもそも、この資料って何だっけなすべての評価結果が出揃った ときに、我々が見る資料であって今の現時点の評価を示されて も、正直後で見たときに、これ何ってなるんで、そこは今最終的 な結論。
0:58:15	ていうか、支払いの段階の状況を踏まえて資料ってのは作って ください。
0:58:21	いいですかね。
0:58:22	これその下の既存の解析結果を使用するケースも、
0:58:26	一緒ですね。
0:58:27	既存っていつの時点からの既存なのか、これが許可を終わった時 点で、既存っていつって絶対なりますよね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:34	これ前、対津波の時も言ったはずですよ。要は最終的な何だろう、状況に対する記載ぶりをちゃんと考えてください。この点よろしいですかね。
0:58:49	北海道電力奥寺です。追加とかき損とか、この辺りは、我々の作業の流れで、
0:58:57	わかりやすくあろうという我々の勘違いの部分もありますので、最終の仕上がりについて1から89も一緒に基準津波、
0:59:07	と同じはず我々の
0:59:09	その辺の考えが税、最終的なものと合致するように整理したいと思います。以上です。
0:59:16	規制庁氏原ですわかりました。ちなみにこの9ページの7の、
0:59:21	記載ぶりこれも多分こちらから要は3.5じゃなくて5メートルも提案していき面の内容は理解してますけど、これタカハシさん日本語見て理解できますか。
0:59:33	何言ってるか。
0:59:35	高橋さんがわかるように文章は修文してください。
0:59:39	はい。北海道電力の高橋です。私も当然小コウノ中身を、ヒアリングも同席してますんで理解して、
0:59:50	わかるかなということ、考えましたけれども、やっぱりこれ、会合とかも考えたときに、誰が見ても言ってることがわかるような、そういった文章にしなきゃいけないっていう、
1:00:04	ことを改めて認識しましたので、今後、そういう形で修正していきたいと思います。
1:00:20	石村笠田です。だいたいのことワーエザキフジワラ。
1:00:25	イシダさんでみんな行ったと思うんですけど
1:00:29	さっきの話もあったんですけどまず検討のフローを作ってください。この流れがよくわからないです。だから設計で一番大きな荷重を求めるというフローを作って、
1:00:41	それに基づいてこういう表を作ってください。
1:00:44	サトウ説明文が足りなくて今藤原が言ったように、
1:00:49	低い人が5メートルって、僕ら、その津波がイデてない人間は何で、何これっていう話なので、
1:00:56	米印移行とか、基準津波がこの資料見てくれって書くだけで全然ものが違うんで。
1:01:04	そこら辺は丁寧な説明の方をお願いしたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:08	あとはもう皆さんが言った通りです。まず、フローと考え方を整理してそれをつけた後で、今、皆さんが言ったコメントを反映して欲しいと思います。以上です。
1:01:24	北海道電力奥寺です。先ほど来のやりとりと同じような回答になってしまいますけれども、流れとか位置付けとか、そのあたりがわかるように、全体のフロー、考え方を整理していきたいと思います。
1:01:38	それと要望が、
1:01:40	ちょっと
1:01:44	我々の甘え的なところが出てしまったのかもしれないですがわかりづらいということでその辺りは、誰が読んでもわかるようにという目で再度精査したいと思います以上です。
1:02:03	期中 J A S M I N E だけちょっと細かい話、本当これ記載だけなのかどうかあれですけど 2 ページ目。
1:02:10	2 ページ目ですね 2 章 2 の二つ、
1:02:13	ところの上から足、一番下のポツの、
1:02:17	発生等においても評価項目ごとに、この評価項目っていう用語がすごい何か私は戸惑いました。
1:02:28	で、
1:02:29	評価項目っていうと、西瓜時間かとかって私は思ったんですね。
1:02:35	後の方でぜひ、ページをめくっても何かあんまり評価項目はこれだっっちゃうのが明確になくて、
1:02:41	何となく 6 ページのところかな、6 ページのところを見たときに、この左側の四角で、月井モデル括弧これこれ、ポツ、評価項目に着目した整理、
1:02:52	この表の右の方の表を見ると、地形モデルっていうの縦の列があってその横に何か膨張て前面とか、3 号炉取水口とか、
1:03:01	いうのがあって、もしかしてこの評価項目っていうのは、
1:03:04	これですか。次、いつのこと言ってるんすかね、要は防潮て前年度とか取水口とか、
1:03:15	この北海道電力の吉井です。5 市ご認識の通り評価項目は、この防潮て前面とか、こちらの位置を指してございます。
1:03:27	規制庁チャンスさしてるのは理解しました。日本語としてこれ変じゃないですかっていう私の
1:03:34	評価。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:36	しています。
1:04:05	今、庁内で打ち合わせします。少々お待ちください。
1:08:30	藤規制庁フジワラです今ちょうど打ち合わせが終わりました。はい。イワマなんかには本郷的にその用語の使い方とかの統一ですかね。なかなかちょっとやっぱこれ全体を見てわかりにくいので、
1:08:41	それをきちっとそちらの北電の中で確認いただけるようお願いします。本件よろしいですか。
1:08:47	はい。北海道電力の高橋です。ング承知いたしました。しっかり弊社内容で確認したいと思います。
1:09:03	規制庁のミウラです。
1:09:05	今までさんざん最初のうちに議論があったことなんですけど、11ページ。
1:09:12	なんですけど、
1:09:15	北電としては、
1:09:18	基本ケース2形成欄であって、そこで14ケースのものをやってここでスクリーニングして、
1:09:26	スクリーニングされて影響因子として、
1:09:30	評価しなければならぬものを右に持ってきてストーリーで、
1:09:34	多分、考えるとこの資料作られてますよね。
1:09:37	多分、
1:09:38	私自身もそう思ったんですがこのAIの基本ケースをやることによって公演紙を本当に削除して構わないの。
1:09:48	やっぱり厳しいものについてはそれをちゃんと押さえとくべきじゃないの。
1:09:52	というのが多分、規制側の意見なので、
1:09:57	係数すごく増えてしまうので、そっから先研修として厳しいものニイツや、
1:10:04	今厳しいものに関しては必ず影響因子に対するパラメトリックスタディをやるってベースをもとにそのあとどれだけパラメータを減らしていけるかっていうところはまたもう一度整理をして、
1:10:15	全部やったことあるんですもんね。
1:10:17	だからそこんところのロジックをきちっとまとめてください。
1:10:21	それとあと11ページやっぱり上、確認なんですけど、右上の、
1:10:28	平面二次元解析で18ケースでは元から、
1:10:34	Hになってるこれは、Lの間違いかな。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:39	18 ケースだからあれですよ。下コガも入ってくるんじゃないですか。違いますか。
1:10:50	北海道電力奥寺でございます。先ほど新しいダーの考え方を述べさせていただいて一般的な目だけでっていうようなご指摘かと思えますのでちょっと厳し目の部分っていうのにもう少し、
1:11:03	着目した上で漏れがないような、ロジック、考え方の流れ作っていきたいと思います一つ目は、そういうことです。二つ目ですけれども、Lの、
1:11:14	動きかと思いましたので確認の上、必要であれば修正したいと思います以上です。はいお願いします。
1:11:20	あとそれと、
1:11:21	ちょっともう一つよくわからないんですけど、 $18-2$ の $n$ 乗 $2$ の $N$ 乗って形でまとめられますよね影響因子が、
1:11:30	$N$ という形で、
1:11:33	これってというのは、
1:11:35	影響因子の組み合わせを考慮されてる。
1:11:39	という理解でいいですね。
1:11:42	北海道電力奥寺でございます。その通りでございます。有賀丸なしがバツだとする $○○ \times \times \circ \times$ マツモトとそういったようなイメージの、
1:11:52	今、
1:11:53	$2-2$ 条の例で言いましたけどそういったイメージのことを書いております以上です。わかりました。この辺のところもちゃんと説明したりですね、組み合わせを考慮されてるんで、 $2$ の $n$ 乗 $2$ の $N$ $G$ の意味っていうのを、
1:12:05	単にこういう単独事象これ単独事象も当然考慮されるわけですよ。
1:12:09	で、組み合わせ事象も考慮されるから $2-A$ のようなんじゃないですか。
1:12:17	それぐらいでしょ。その辺のところの説明をちょっと加えといたらいいですね。
1:12:22	北海道電力奥寺でございます。わかりやすさの観点の目でもう少しブラッシュアップしたいと思います。以上です。はい、わかりました。はい。よろしく申し上げます私から以上です。
1:12:44	規制庁の石田です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:45	少し細かい話で確認とお願いがございませう。
1:12:52	ですね。
1:12:55	先ほど9ページのところでいろいろ、
1:12:57	影響、
1:13:00	要因影響因子という言葉で出てきたんですけど、
1:13:04	9ページでは影響要因って言葉を使われてるんですけど、
1:13:09	これ、
1:13:11	具体的には、影響要因って、
1:13:14	まずんな、何を考えられてます、水位と流速ぐらいはふっと思ひ 浮かぶんですけど、
1:13:27	北海道電力の吉井です。まずですねこの9ページで影響要因として 設定するっていう、
1:13:34	のは、その地形変化、
1:13:38	2を考慮して基準津波よりこの増井とAとかが高くなつた場合を、 その地形変化に対して影響要因とし、
1:13:50	呼んでると、そういった理解規制庁だけですけど、これ影響要 因、さっきも言ったけどその定義がよくわからないんで、影響要 因っていうのは、そっち行ってるのは、話を聞いてわかつたんだ けど、
1:14:02	もうさ、金庫の3.5メートル-2メートルそれが影響の話なんだよ ね。
1:14:07	だから、我々が言ってるその影響因子って言ってるのは、
1:14:12	さっき言った、
1:14:13	その高さだとか、
1:14:15	そういう話なんだよね。
1:14:17	だからそこと、
1:14:19	かみ合っていないから、
1:14:21	僕は読んでもこれ、なかなか理解しにくいってことなんだよ ね。
1:14:25	だから、そっちを作ってる底の部分と、こつちのガイドと言っ てる部分と、
1:14:30	重なり合わないようにするかまたは注い。
1:14:34	ある程度、しっかりと定義した方がいいんじゃないかと思っただ けどだから話が全然かみ合ったりして、しないってのはその辺が あるんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:42	我々ガイドにとかそういうもので使ってる言葉を中心にお話してるけど、
1:14:48	そちらの方は自分で考えてる。
1:14:51	用語なんで、それはそれなりに定義してちゃんと説明しないとわからないかなと思いますけどね。
1:14:58	北海道電力の吉井です。用語に関しては定義等を明確にして、記載の適正化を図りたいと思います。以上です。
1:15:10	規制庁の石田です。そのところは、
1:15:16	すごく実は大事なところなので、用語の定義とかそこら辺定義をしっかりといただくのとあわせてですね、必要があればですね、具体的な補足説明も付け加えるようなことは考えていただきたいと思います。
1:15:31	それが最初です。次にですね
1:15:36	先ほど来ちょっと、まず、全体としてのフローをですねきっちり作って、どういうロジックに基づいて考えていかっていうのを明確にしてくださいということをお願いしております。
1:15:48	それで、少しそれを具体的にお話すると、今、
1:15:55	5 ページのところですね、
1:15:58	5 ページのところ、考えられる。
1:16:01	波源とそれから考えられる地形モデルの組み合わせの総数っていうのが出てきて、まずこれが本なんだろうな、検討するにあたってのまず母数に相当するのかなっていうふうに思っています。
1:16:16	なので、ここから始めて、まず、水位上昇、であれば、高さの、
1:16:26	チャンピオンのところを抽出するというスクリーンが、6 ページのところに行っていると。これはこれで一つ、ロジックの流れだと、流れの柱だと思ってるんでここはまず、
1:16:40	きっちりやっていただきたいと思ってるんですね。それで、今の話を踏まえて、14 ページの方に、
1:16:48	飛んでいただいたときに、
1:16:51	これ 15 ページ以降で具体的な説明をされるにあたって評価因子っていう左側にあるところで、津波の高さと津波の高さ以外で二つございますよね。
1:17:04	それで、津波の高さに関しては、今申し上げたように、全体の母数に対して、チャンピオンの数字を拾っていくことで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:15	ここの津波の高さに、津波の高さを評価するためのケースっていうのを、
1:17:22	抽出できる、具体的に言うと先ほど14ケースって数字が出てきましたけど、それが抽出できるのかなというふうに思いました。それで、津波高さ以外のところですね。
1:17:33	これ、これは重要ケースでして、ご説明いただいたんですけど、そのケースでもってこの津波高さ以外の、
1:17:43	評価に対して保守的なケースが選定できるのかどうかってのは、ちょっと私わからなくてですね、そこら辺もフローを作る上では、
1:17:54	考慮いただきたいなというふうに考えているんですが、
1:17:57	いかがでしょうか。
1:18:14	事業者で今相談しますのでちょっとお待ちください。
1:19:45	北海道電力の吉井です。ご指摘の通り5ページから6ページの選定の考え方っていうのは水位上昇側でしたら
1:19:57	津波高さの観点でスクリーニングをかけてるということでございますので、流速であったりとか津波高さ以外の観点につきましてはちょっとどういう考え方をするかというのはちょっと今後整理して検討したいと思います。以上です。
1:20:15	規制庁の石田ですよろしくお願いいたします。どういう、土肥とかっていうのは今、江崎さんの方でちょっと説明してくれましたけれども、
1:20:25	要は、津波の荷重であれば、水位と流速が関係してきます。それから、漂流物に関しても当然そうですね。漂流物の場合はおそらく、
1:20:37	海域を平面的にとらえてその中の流速混タカダと、何かを出して、その最大値を一律で使うというようなやり方を先行号機でもやってるので、
1:20:49	おそらく泊でもそういうふうな考え方になるかと思imasので、そういうふうな要因というかですね、それも踏まえた形のフロー選択フロー書いた上で、
1:21:02	ケースを選択、抽出していただきたいということです。
1:21:06	それでええと、
1:21:08	以上それをお願いいたします。
1:21:10	それからあと細かい話でちょっと、幾つかお願いがあります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:16	ですねこの資料、15 ページ以降を見た時にですね、
1:21:22	潮位変動に関して、高潮の話がないので、ちょっとこれはいずれ入ってくるんですかね。わかんないんですけどタカハシの話は、
1:21:33	入れていきたい、入れていただきたいという話、それから、これが一つ目。それから二つ目はですねちょっとだけ冒頭にお話ありましたけれども、
1:21:45	局所的な固有周期の励起っていうものに伴う水位変動。
1:21:52	それとあわせてですねグー各部なんかのところで、要するにその膨張てと、防波堤の回り込んだところの各部のところで、水位が上昇するっていうことがあります。
1:22:06	なので膨張て前面での水位っていうふうな書き方されてるんですけど、そこは膨張ての総延長でその利益の話だったりとか、学部の反射影響であるとか、そういうようなことも含めて、
1:22:20	膨張て総延長でもっての水位設定という考え方をしていただきたい。
1:22:27	それからですね、
1:22:32	これは扱いをどう、どうしたらいいのかは、
1:22:35	ちょっとご相談ではあるんですけども、
1:22:39	燃料輸送線の、
1:22:44	停留する場所。
1:22:46	あそこにおけるですね、水位だったり、流速、流況ですね、水、流速流向っていうのは、それを
1:22:58	入力津波の条件というふうにするのか参考情報というふうにするのかはちょっとご相談かもしれないんですけど、そういうデータも、
1:23:10	提示をいただきたいなというふうに思っております。それは入力津波の方ということではなくって燃料組成の方でいろいろとまだ検討しなくちゃいけないことございますので、その時の、
1:23:23	大事なというか、大事なデータになるはずだと思っておりますので、
1:23:29	はい。以上ちょっとその細かい点について三つお願いをいたしましたけれども、
1:23:35	いかがでしょうか。
1:23:38	北海道電力奥寺でございます。高塩の件、認識しておりますのでそれがわかるように資料化。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:45	はい、いたします。それと、局長的利益グカク部、包丁で電線等の話ですけど現在も
1:23:54	予定のスイートを前線含めでは、ある範囲を取って設定しておりますのでそこを意識しながら取りまとめを行っていきたいと思います。もう1点燃料輸送線に関わる入居等につきましては、
1:24:08	社内で相談の上対処をしたいと思います。以上です。
1:24:13	石田です。
1:24:14	了解いたしました。よろしくお願いいたします。
1:24:17	私からは以上です。
1:24:23	規制庁藤原です。1点だけちょっと確認18ページ1と開いていただいて、
1:24:29	18ページこれ3号放水炉内最高水位のところ因子であって、要は表、一番右の方の日設定位置における水位っていうのは、
1:24:39	3号炉放水ピットと、
1:24:42	あれ、3号炉一次系放水ピット。
1:24:46	アマヤ、これは多分なくなるのかな。
1:24:49	うん。ちょっと確認したこの※下の方の表の下に米印があつてです。ね、こういうの1かな。
1:24:55	※2もそうですけど※1はこれはあれですかね。
1:24:59	この波源Dっていうのは戸谷放水コウノ1、要は7防波堤のセンターにある放水効果な、そこでの波源が波源Dなんだけども、
1:25:11	捨てるがなと。
1:25:13	流入による影響を考慮した上で改めて検討対象波源を選定する。ここのちょっと理由は、
1:25:19	書いてる意味がちょっとよくわかんなかったんすけどこれは、
1:25:22	どういった意味で書いてるんでしたっけ、これって。
1:25:29	北海道電力の宇都氏です。
1:25:32	3号炉放水炉なは基本的に法成功
1:25:37	から流入してくるものですのでその波源は検討対象としてるんですけども、別途ホース一井からも流入が考えられるので、ちょっと法遂行以外にも着目するべきところがあると考えてましてその波源を
1:25:55	選定すると。
1:25:57	ということで記載してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:00	規制庁しやすい要は放水高というのは要は、そっか、3日のちっちゃな会社会計付近の開口であって、ホース一面はちょっと実際、地上から、
1:26:11	眺めるイケア、理解しましたけど、てことはこれで書いてあるのはあれですかね例えば5ページで見たときの、波源Dというところが今MAXで放水高はあるけども、
1:26:23	今ここで何だろう、改めて検討対象選定するのは波源、
1:26:29	Lかなんかも含めてやる。
1:26:33	て言ってる意味なんすかね改めては検討対象範囲の選定性の意味がちょっとごめんなさいわからなかったんで、
1:26:48	北海道電力の吉江です。後、おっしゃる通りアノは原理以外からも、ホース一井
1:26:56	に影響を及ぼすものを選定するという考え方で相違ありません。規制庁藤江ですわかりました。ここはもうちょっと何か明確にした方がいいかもしれないですね後、
1:27:07	ちょっと気になったのは元と言われると基準津波ってちょっと思っちゃうんで。
1:27:11	これは元候補になるのかな。
1:27:13	ちょっと用語の使い方がすごいデリケートに扱っていただけるをお願いします。いいですかね。
1:27:21	北海道電力の吉江さん承知いたしました用語の使い方にはまた留意して適正化を図りたいと思います。
1:27:30	その他、会議室側で確認
1:27:43	規制庁のイトウです。細かいところとか、ちょっとこの資料で読み取れなかったところを確認したいんですけど。
1:27:54	まず11ページ。
1:27:57	の話で、
1:28:01	右っかわでこの平面2次元で地形パラスタの影響要因の設定ってところから、解析係数はこれだけ選定しますっていうこの流れになってるんですけど、
1:28:14	ここで言ってる右側の地形パラスタで影響要因を設定したっていう、その
1:28:21	要因って水位と、あと流向流速、
1:28:25	二つ、あると思うんですけど、9ページでも何か考え方書いてあるんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:33	これは水位で水位に影響があるなしを考えて、影響要因を設定する。それと、
1:28:41	それともう一つ加えてさらに流向流速、
1:28:46	影響あるなしを見て影響要因かどうかを見るっていうことで、何か二つ、別途影響要因っていうのが出てくるっていうイメージですかね。
1:29:03	北海道電力の吉江です。ご認識の通り水位の観点で影響要因を抽出するのと、流向流速の観点で影響要因を抽出するそれぞれ
1:29:15	別の観点で影響要因を抽出していくということになります。はい。規制庁の伊藤です。そしたら9ページのところでもいいんですけど、ちょっとそれがもう少し明確になるように書いてもらっていいですかね今
1:29:28	水位と流向流速それぞれの観点で、年か何か書いてなくて、あまり設定をそれぞれやってるのかなのかってというのがちょっと夢なんですかね明らかにならなかったんで、
1:29:40	その辺はもう少し規制を充実化させてください。それと、
1:29:44	11ページの中で
1:29:48	書いてあるこのN、
1:29:51	ていうのが、
1:29:52	その水位と流向流速、
1:29:56	それぞれの観点でっていうのがまた書いてあるんですけどここで言ってるNっていうのは何を指してるんですかね、水位に影響あるもの。
1:30:04	と、それプラス、流向流速に影響あるものっていう、そのすべてのケースのことを、すべての要因のことを言ってるんですか。
1:30:13	そうではないんですよ。
1:30:15	北海道電力の吉田です。水位に影響を及ぼす個数、影響要員数をNで流向流速、
1:30:26	に影響を及ぼす影響要員数Nそれぞれ別個で考えると、というような考え方をしております。
1:30:34	はいそしたら、何かこのNっていうのがすべてなんか合計のようにも見えるんで、その辺の何ですかね考え方、考え方がわかるようにちょっとしていただきたいので多分これは資料全般を通してなんですけども、
1:30:51	まずこの点よろしいでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:55	北海道電力の吉井です承知いたしました考え方がわかるように記載を見直したいと思います。
1:31:03	規制庁の伊藤です。それ等あっと今、
1:31:09	同じく 11 ページの右っかわの。
1:31:12	ところで 14 ケース、書いてあるんですけども波源 A I の 2 ケースは
1:31:20	改めて検討するということだと思んですけども、地形係数何地形変化なケースってことで、
1:31:27	膨張、
1:31:30	防波堤の損傷は水位の観点では確かに基準津波のところで検討されてるので、ここには出てこないっていうのはわかるんですけど、流向流速の方では、誇って検討する。
1:31:42	スルー影響要因として、
1:31:45	パラスターやるっていうことだと思んですけど、
1:31:49	何かこの、
1:31:51	頭に掛ける 7 だとそれが抜けてるように思んですけど、この点って、いかがですか。
1:32:02	北海道電力の吉井です。流向流速の観点では先ほどご指摘ありました通り、ちょっと改めて扱いについて検討するということですので、
1:32:14	その点を踏まえて記載の適正化を図りたいと思います。
1:32:41	規制庁だけです。ここの考え方をここまた改めるにしてもね、記載の仕方っていうのをちょっと変えていただきたいんですけど、だから波源は何か、
1:32:51	基本的に全体で全部かけるんでしょうか。
1:32:54	14、12 があるのか、12 波源あるんだよね。
1:32:59	違った。
1:33:01	中は議案 4 ヤノ。
1:33:04	掛ける地形モデルが 4 結あるわけですね。
1:33:07	掛けるそう 4 ケースでそれに対して
1:33:11	影響因子っていう部分があるわけですよ。
1:33:14	その中から絞り込むっていう意味でしょう。それから等対応できるような表現でないとなんをどれだけやるのかってのはちょっと見えてこないんで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:24	そういうわかりやすいような説明の宇和ちょっと表記してもらえますか、その基準津波がそうだってあったとしても、
1:33:32	そっちの方の審査僕はやってるわけじゃないので、
1:33:35	基本的にわかりやすい。
1:33:36	表記にしていればと思います。
1:33:44	規制庁の伊藤です。あと、ちょっと細かい点なんですけど11ページのこの※2、
1:33:49	の内容って、ちょっとこれぱっと読んでもあんまりよくわかんなかったんですけど、これって何を言いたいんですかね※3については先ほど、丹藤原さんが質問したところだとは思いますが、
1:34:01	※2って結局、これ何を言ってるんですかね。すみません。ちょっと日本語がよくわかんなかったんですよ。
1:34:09	北海道電力の吉田です。※2に関しましては、この解析ケース数の中にもう基準津波で解析済みの例えば、
1:34:22	この影響、影響要因として、すべて考慮しないケースとかも含めてこのケース数に入れているということで※2を打っていると。
1:34:34	また地形パラスタで、
1:34:38	検討済みのケースでも平面二次元解析の方のケース数に入っているということですので、この※2をつけさせていただきました。
1:34:52	規制庁の伊藤です。すみませんちょっとよくわかんなかったんですけどこの18ケースの中に、18ケースの説明をしてるんですかねこの※2、
1:35:04	北海道電力の吉井です18ケースの説明というよりはその2のn乗の中に、基準津波で検討済みのケースや、パラスタの検討済みのケースが入っていると。
1:35:18	わかりますか
1:35:22	防波堤のありなしの話ではなくてってことですかね。
1:35:28	基準津波で検討した、
1:35:31	何ですかパラスタケースですすみませんちょっとなんなのか、あんまりわかんないんですけどあ、そう。
1:35:55	北海道電力の青木です。ちょっと補足させていただきますと、11ページの右側の表のところで、例えばなんですけれど、地形パラスタの結果、すべて影響がなかったということになれば、2の0乗というところで、1になりまして全部で18ケース。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:12	ていうところになります。その 18 ケースで地形の影響見てないケースというところでそれがもう、5 ページのところでもうすでにやってあるというところを言いたいところは、※2 の注釈という意味合い。
1:36:23	と考えております。以上です。
1:36:26	規制庁の伊東です地形の影響というのは防波堤のあり、ありなしの話ですか。
1:36:32	衛藤北海道電力の青木です。5 ページのところでもうちょっと地形というところを正確に言いますと防波堤については5 ページのところでもいろいろ損傷したところをやっているところ、
1:36:43	11 ページの下の地形の影響といったところは防波堤以外の地形というところで、
1:36:48	9 ページの発注にかけた地形っていうところを、今言いたかったところになります。以上です。
1:36:57	規制庁の伊藤です。いずれにしても、ちょっとこの記載だけだと、何を言ってるのかわかりにくいので、その辺は考え方わかるように補足しておいてください。
1:37:10	あとですね規制庁の伊藤ですけども。
1:37:18	と、そうです。すいません、掲載だけなんですけど、13 ページ。
1:37:29	これは砂の移動の解析の話だと思うんですけど、何かここだけ表が11 ページと違ってですね、
1:37:38	何でこれ真ん中の列が増えてるのかよくわかってなくて、
1:37:42	これで11 ページと同じ掲載をとるのであれば、上に入力津波解析が来て、
1:37:50	この上の青いところですね青いところに入力津波解析が来て、
1:37:54	この水路ない砂移動解析ってところに括弧3号取水炉っていうのがつくのかなと思ったんですけど、これは何か良いとしてこういう構成にされてんですか。
1:38:07	北海道電力のエンドウCS、ご指摘にありました通り11 ページと同じような記載の仕方はできると思いますので、体裁を整えたいと思います。
1:38:20	はい。規制庁の伊藤です。
1:38:23	はいよろしく申し上げます後、すいません中身の話よりは全般のちょっと話で、ずっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:30	ロジックとか整理してねっていうのは他の審査官とかからも申し上げてる通りなんですけども、その結論を今回説明したい。
1:38:42	ウノが何かでその結論が何なのかっていうのもちゃんとわかるような資料にしてください。今の現状の資料だと、どこに結論が書いてあってどれがまとめなのかも、さっぱりわかんないので、
1:38:54	そこはしっかりと書いてくださいでそこに至る過程、そこはしっかりとロジック構成して、他の方が申し上げた通り、しっかりとやってください。
1:39:05	はい。私からは以上です。
1:39:11	北海道電力の吉江です。結論がわかるようにするというご指摘と過程をしっかりとロジックを構築するというご指摘拝承です
1:39:22	記載を適正化したいと思います。以上です。
1:39:30	規制庁藤間です。もう1点だけすいません。私確認で、さっき3号放水ピット内の評価っていうのが18ページで、
1:39:43	やって流路縮小工で梅川にどんだけ水来るかパラスターホデ18ページあるで、その時にちょっと9ページの影響要因の設定において、はげの話はちょっと後でやるとしても、
1:39:57	このなんだろう、影響要因の設定の際には、当然この放水ピット内の、要は流路縮小工の上のほうの水位でもって、この影響要因を、
1:40:07	やるという理解でいいですよ。いや、何となく放水。
1:40:12	移行とか、
1:40:13	恵方スイッチでもって影響要因を設定するのかそれとも、
1:40:17	ちゃんとな、感度解析の中の方も踏まえてちゃんと影響、
1:40:21	要因をやるのかっていうかそれだけの確認なんですけど、
1:40:24	この点いかがですかね。
1:40:48	またちょっと事業者内で打ち合わせします。
1:41:21	北海道電力の吉井です。
1:41:27	どうぞ。3号放水ピット等における増井というのは最終的に感度解析で出すんですけれども
1:41:38	3号炉のまず地形パラスターの方では3号炉放水コウノアノ1でプラスと見て、その後入力津波の評価で
1:41:50	管路解析をして3号炉放水ピットの水を出すとそういった流れで進めていくことを考えてます。
1:42:05	藤規制庁おっしゃるそれって、先行審査でも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:08	先行火災とかでもそうやってましたっけ。
1:42:15	北海道電力の依田井清さん先行でも、そのようにやっていたと認識しております。
1:42:25	ちょっと要は言いたいのはゆ最終的に評価の条件に対して何か薄 要は、
1:42:32	パラスターの場所が若干ちょっと違うところがあって、もしそう だとしたらそうなんだろう放水砲の方がな、の方で代表できるっ ていう根拠ですかねそこはちゃんときちっと、
1:42:43	明確にさせていただきたいなと思ってるんですよ。
1:42:46	もちろん今は放水ピットのいわゆる主要行の所面でパラストやれ ば、一番ベストかもしれないですけど、そうやらないんだったら要 は、
1:42:55	放水工で代表できる、そのに例えば、その管内の
1:43:00	何だろう、卓越周期なのかどうかわかんないですけど何かいろい ろな分析が多分やった上で要は高さをやることによって、当然その 管の中を、いろんな圧損が、
1:43:11	あったとしても、
1:43:12	それが代表できるんだと、なんかちょっとごめん、今の話だと、 本当に代表性あるのかがちょっとよくわからなかったんでその辺 はちょっと整理をしていただけますかね。
1:43:32	北海道電力の誘導施設、3号放水高で代表できる理由とかその辺り はまた今後検討してお示ししたいと思います。以上です。
1:43:45	規制庁じゃないですかその他会議室側で何か確認したいこととかあ りますか。はい。
1:43:53	規制庁伊藤ですすいませんちょっと1点だけ確認しますし忘れた んですけど11ページで、
1:43:59	この影響要員数Nについてなんですけど、
1:44:05	例えば平面二次元で言う、言う、防潮で前面では、例えば陸域 沈下が影響ありましたという結果になって、
1:44:17	3号取水口の方では、影響ありませんでしたと陸域沈下が、そうい った場合って、
1:44:25	何ですかね影響なかった時点でも、組み合わせを
1:44:30	何ですかね、考慮するんですかね。今だとちょっとそこら辺がよ く見えないんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:35	影響の形でもそのすべての全要因の組み合わせを考慮した解析ケースを回すっていう、そういうことなんですか。
1:44:48	北海道電力の吉江です。もともとは現度合いで検討していた時は影響ガーダーどこかの時点であれば
1:44:59	それは影響要因として選定する考え方たでしたけれどもちょっと今回ご指摘いただいて
1:45:06	波源の選定の仕方パラスターの仕方も含めて再検討する流れでちょっとその辺りも整理して、また今後お示ししたいと思います。
1:45:17	以上です。はい。規制庁の伊藤ですわかりました。詳細は今後確認したいと思います。
1:45:26	会議室がよろしいですか。
1:45:30	Webで参加の方で、
1:45:33	ございますか。
1:45:45	季節エザキですけど、私からちょっと最後にしますけど、基本的に、
1:45:51	今、我々の方でもう一度、
1:45:54	大府抽出のプロセスを、考え方をもう一度、
1:45:59	再整理していただいてっていうことで、お願いしてますけども、お願いとか要請してますけど、これにそれに立って考えたときに、
1:46:08	手戻りって、
1:46:09	生じます。奥寺さん。
1:46:13	かとか、だから、一番心配する恐れがあるとスケジュール影響があるかもしれないんで、
1:46:19	その上の影響が出る。
1:46:26	北海道電力奥寺です。今、はい。
1:46:31	AIで進めているところですので、おそらくもっと今のやりとりですと、ふやさねばならないんで要員を選定する過程において、
1:46:41	影響が出ると考えてます。以上です。
1:46:46	聞いてるだけです。多分そういうことになるだろうと思います。なのでこれ早くやりたいって言って私の方から、そちらの方に申し入れたのは、そういうことです。多分、
1:46:56	そういったことで、他サイトでもカシワギもそう、そうでしたし、基本的に足りないっていうことがあって最初は全部用意されてたわけじゃなくて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:04	足りない部分や確認。
1:47:06	とともにですね、追加の部分が出てきたりする、すると片田あるので、
1:47:11	それが遅い段階で確認しちゃってると、まださらに大きな、
1:47:17	なんていうスケジュールの遅延になると思うので、
1:47:21	今どのぐらいの程度感かなるのかもわからないのででしょうかから、わかった段階でまたその
1:47:28	今日あったようなスケジュールヒアリングの中でまた説明いただければと思います以上です。
1:47:36	はい。北海道電力の高橋です。今日の議論を踏まえてですね係数が増えてくれば解析に時間がかかるということになりますので、あとは従前からその解析の時間をどう短縮するかとか、そういったところを結構総合的に
1:47:52	検討して、スケジュールとしてどうするかっていうことになると思いますんで、それを含めて、スケジュールの時にご説明したいと思います。
1:48:04	規制庁の江崎ですよろしく申し上げます。多分あれですよ。スケジュールを。
1:48:08	スケジュールっていうよりは、基本的にはその解析個数としては、ケースが増えてるんですよ。多分、今のことって形でやろうとしたならば、そういう解釈でよろしいですよ。
1:48:18	わかりました。以上です。
1:48:24	規制庁千原ですそういった全体を通じてごめんなさい。北海道電力の方から何か改めて確認したいこと。
1:48:32	よろしいですか。
1:48:34	はい。
1:48:36	全体を通じて、特に、
1:48:38	双方で特にないようでしたら、今日のヒアリングについては以上としたいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。